
とりあえず、異世界でバトルロワイヤルします

mike

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とりあえず、異世界でバトルロワイヤルします

【Nコード】

N8149Z

【作者名】

m i k e

【あらすじ】

とりあえず、異世界転生することになった主人公が、転生する前に世界観の設定資料集を読み漁り、戦略を立てた上で異世界転生します。

初期戦略は上手くいくはずですが、その後はどうなることやら。

とりあえず、バトルロワイヤルの勝利を目指します。

『芽』からはじめる異世界ロワイヤル

『エネルギーガ・TRPG ルールブック』

そう書かれた厚手の本を俺は目の前のニコニコ微笑む天使から渡された。

どうやら俺は、現実の世界で死亡し、転生するらしい。

その転生する先が、剣と魔法と魔物と精霊の世界『エネルギー』らしい。

……とりあえず、熟読することにする。

3時間ぐらいかけて、俺は『エネルギーガ・TRPG ルールブック』を読み終えた。

この『エネルギーガ』を簡単に説明するなら、転生者達によるエネルギーに住む人々を大いに巻き込んだデス・ゲームということになる。

転生者たちは互いに殺し合い、最後の一人になるまで殺しあつて欲しいとのこと、優勝者には転生する世界『エネルギー』が与えられるとのこと、ちなみに転生者の参加人数は100人である。

正直、世界を貰ったところでどうしたらいいのやら、なにをしると。

あと、殺し合いになる転生者たちにはゴッドポイント、通称GPが300P与えられ、そこから能力やら才能やら種族値やらにポイ

ントを振り、その能力を受け転生し殺しあうらしい。

さらに詳しい資料や設定もあるらしいので、それが記載されている設定資料集も借りて熟読する。

更に5時間が経過する。

さらに、俺は天使から紙とペンを借りて、設定資料集から学んだ事をまとめ、戦略を練り、構想を重ねる。

更に10時間が経過する。

その構想を元に天使とGPの振り分けについて相談する。

相談した結果、天使の上司までこちらに呼び、話し合い、俺のGPの振り分けが決まった。

相談時間でプラス22時間が経過した。

俺は転生部屋で合計40時間過ごし、剣と魔法と殺し合いの世界『エネル』に転生した。

人間は考える葦であるという言葉がある。

そして、俺は1本の『芽』として転生した。

芽、草である。

歩けず、動けず、喋れず、考えれず、何も出来ない草。

その草の中で尚、幼く、小さく、脆い、芽である。

これに転生したのは理由がある。
転生の中でGPを振り分ける際、マイナス振りというものが
つまりステータスをマイナスに振ることにより、GPを増やすと
いう方法である。

基本的な使い方は、魔法使い特化型のステータスの振りにしたい
時に、筋力などのステータスを犠牲にして、魔力や知力を増やす時
などに使う方法のだが、俺は種族の振りを究極までにマイナスに
振った。

その結果が『芽』である。

- 1,000,000GPである。

そして、次に選択したのが生まれる場所である。

俺は『エネルギー』の世界でも最も生物が住み難く、酷い環境にある
極寒地帯『ウルクス霊山』の霊脈の源泉、通称『マナプール』に生
えることを選択した。

+ 10GPである。

生まれる場所の選択はほとんどGPを取られないそうである。

でも、生まれる種族や種族的階級の高い家に生まれるようにする
には結構GPを使うらしい。

『エネルギー』には『世界樹』という木がある。

マナプールに生えた木が、マナを吸収しながら成長したため、大
きく強く、『精霊』という人格まで備え存在するらしいのだ。

俺はそこに目を付けた。

ただの木が、マナを吸収して成長しただけで『世界樹』になるのだ。

なら

『転生者』の俺が特別な力を持った『芽』としてマナを吸って成長したら、いったいどうなるのか

『芽』に転生して10年

俺は『花』を咲かせ『精霊』として生まれ変わった。
『青き薔薇の精霊』として。

とりあえず、『芽』として生まれた10年はGPを消費して神から『加護』を受けていた。

10年間、何者には攻められず虐げられない、『絶対の守護』

- 1,000GPである。

かなり痛い消費だが、『芽』状態では何も出来ないのだ。
仕方のない選択である。

俺は辺りを見回す、場所はごつごつとした岩で覆われた洞窟で、中は青々とした美しい輝きに照らされていた。

輝きを発していたのは美しい青い薔薇である。

満月の月光で育まれたような青白い花に、朔月の闇で蠢くような
荊で俺は形成されていた。

注文通りである。

とりあえず、俺はこの、『マナプール』の洞窟しか知らないのだ、
周囲を探索する必要がある。

だが、俺は『青き薔薇の精霊』である。
この薔薇からあまり離れられないのだ。

そこで『スキル』を発動。

《『青き薔薇の精霊』は『闇荊の人形』を発動した》

俺の周囲を囲んでいた荊が人の形、というか、首なし棒人形の形
を造り、計12体が整列する。

そして、俺の命を受け、人形達は動き出した。

俺が人形達に下した命令は3つである。

まず『周囲の探索』

これは人形自体が俺の知覚としての役割を担っているので、歩き
回っているだけで、俺のその周囲を認識できる。

次に『獲物の確保』

この『ウルクス霊山』は極寒地帯であるものの少なからずモンス
ターが存在している。

そいつらを殺し、俺の元まで持って来てくれれば、エネルギーと
して吸収できるし、素材も活用できる。

一応、エネルギー値の高い薬草類の採取も命じている。

最後に『上位種との接触』

『ウルクス霊山』には『スノーエルフ』と呼ばれる、精霊に友好的な種族がいる。

こいつらと上手く接触できれば、いろいろおいしいのだが。

俺は12体の人形の幸運を祈って眠りに付いた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8149z/>

とりあえず、異世界でバトルロワイヤルします

2011年12月25日23時52分発行